

第 19 回揮発性有機化合物（VOC）排出インベントリ検討会 議事要旨

1. 日時 平成 23 年 11 月 15 日（火） 14：00～16：30

2. 場所 品川フロントビル B 会議室（港区港南）

3. 議題

- （1）平成 23 年度 VOC 排出インベントリ検討会の進め方について
- （2）既存調査で物質名が不明な部分の調査について
- （3）推計精度向上について
- （4）VOC 排出抑制対策の評価のための情報収集について
- （5）規制施設からの排出量推計について
- （6）地域別（都道府県別）の排出量推計について

4. 出席者

委員：浦野委員長、泉委員、指宿委員、川辺委員、橋本委員、前野委員、山口委員、油井委員、
宇田川氏（岸委員代理）、伊藤氏（柴田委員代理）

環境省：山本大気環境課長、栗林大気環境課長補佐、村井大気環境課排出基準係長

事務局：株式会社 旭リサーチセンター

5. 議事内容

事務局より、資料 1「第 18 回揮発性有機化合物（VOC）排出インベントリ検討会議事要旨と排出量推計概要」について説明があり、前回の検討結果の確認が行われた。

事務局より、「平成 23 年度 VOC 排出インベントリ検討会の進め方について（案）」（資料 2）について次の 4 項目を事務局から本年度の検討目標とすることを説明し、議論が行われ、委員から了解を受けた。

- A. 平成 22 年度（2010 年度）の VOC 排出インベントリの推計
- B. 規制施設からの排出推計
- C. VOC 排出抑制対策の評価のための情報収集
- D. VOC インベントリ推計手法の確立

事務局より、議題 1「既存調査で物質名が不明な部分の調査について」（資料 3）について、説明があり、塗料、製造機器類洗浄用シンナーの石油系炭化水素類の物質名が不明な部分に関して、関係団体へ依頼し、一般的な組成を提示していただき、それによって物質名ごとの排出量を推計する。

事務局より、議題 2「推計精度向上について」（資料 3）について説明があり、既存調査における課題及び精度向上の必要があるデータについて、全ての排出量の推計量の精度向上を行うのは困難であるため、排出インベントリ全体の 1%（約 8,000 t/年）以上のものについて優先的に精度

向上策を検討する。

また、事務局の説明では精度が粗い物質の詳細を示していないため、事務局にて再度整理し、委員へ再度提示して検討を行う。(ex.産業連関表適用部分の詳細など)

印刷用インキについては関係団体へ確認し、排出量を推計する。

事務局より、議題3「VOC 排出規制対策の評価のための情報収集について」(資料3)について説明があり、委員から慎重に検討することの指摘があった。

- ・ アンケートの目的と質問内容が乖離し、意図が不明となっている。
- ・ アンケートの回答項目は、回答者の選択が難しい内容となっており、回答を得にくいものとなっている。また、今後の排出抑制対策についての問いが、業界団体あてと自治体あてのアンケート内容が同じであり、内容が不十分。

アンケートの内容について、事務局が再度、検討・作成し、内容について十分検討することが必要。また、東京都の自治体の方の協力いただき、アンケート内容について、細かく検討が必要となった。

事務局より、議題4「規制施設からの排出量推計について」(資料3)について説明。

- ・ 昨年度は回収率が非常に低かったため、その事情を検討して、アンケート方法、内容を検討することになった。
- ・ 規制施設の裾きり時の資料や議事録を参考にして答えやすい工夫をするように要望があった。
- ・ 昨年の未回収先を含め、依頼先の数、内容を再検討することとした。

事務局より、議題5「地域別(都道府県別)の排出量推計について」(資料3)について説明があり、都道府県別の排出量統計は地方自治体にとっても有用との意見があり、昨年度と同じ様に全国配分推計を行うことになった。手法については、精査して、次回に提案することとした。

次回の検討会の開催は来年1月を予定。

<配布資料>

平成23年度揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 開催要項

資料1 第18回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会議事要旨と推計概要

資料2 平成23年度VOC排出インベントリ検討会の進め方(案)

資料3 第19回VOC排出インベントリ検討会の検討事項